



## 1 ダースはどうして12本なの<sup>ほん</sup>

### 12個<sup>こ</sup>を1組<sup>くみ</sup>として数<sup>かぞ</sup>えるときの単位<sup>たんい</sup>

ダースはえんぴつやビール、ジュースなど12個<sup>こ</sup>を1組<sup>くみ</sup>として数<sup>かぞ</sup>えるときの単位<sup>たんい</sup>です。ことばをもじって「打<sup>だ</sup>」と書<sup>か</sup>くこともあります。このことばは、アメリカやヨーロッパから輸入<sup>ゆにゅう</sup>されるもの<sup>つか</sup>に使<sup>つか</sup>われましたが、アメリカやヨーロッパでは、12個<sup>こ</sup>を1組<sup>くみ</sup>と数<sup>かぞ</sup>えるときに広<sup>ひろ</sup>く使<sup>つか</sup>われています。

### 品物<sup>しなもの</sup>といっしょに、ダースの数<sup>かず</sup>もいう

ただ、この単位<sup>たんい</sup>を用<sup>もち</sup>いるときは、まず品物<sup>しなもの</sup>をいってから、ダースの数<sup>かず</sup>をいわないといけません。たとえば「えんぴつ5ダース」というように。ダースはもの<sup>かず</sup>の数<sup>たんい</sup>の単位<sup>たんい</sup>ですが、英語<sup>えいご</sup>では単<sup>たん</sup>に12を「ダース」という場合<sup>ばあい</sup>もあります。

また、12ダースをgrossといい、10ダース<sup>じゅう</sup>を小gross、12grossを大grossともいいます。grossの語源<sup>ごげん</sup>はラテン語<sup>ご</sup>で、大きい量<sup>おお</sup>を示<sup>りょう</sup>しています。(監修・保岡 孝之)

